

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 21 日 (2007.6.21)

【公表番号】特表 2002-543513 (P2002-543513A)
 【公表日】平成 14 年 12 月 17 日 (2002.12.17)
 【出願番号】特願 2000-615877 (P2000-615877)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 1/04 (2006.01)

G 0 6 F 15/78 (2006.01)

G 0 6 F 1/32 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 1/04 3 0 1 C

G 0 6 F 15/78 5 1 0 P

G 0 6 F 1/00 3 3 2 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 4 月 17 日 (2007.4.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 プロセッサ、電圧レギュレータ、フラッシュ・メモリ、およびノン・フラッシュ・メモリを含むシステムにおいて：

前記電圧レギュレータは、前記プロセッサに結合して前記プロセッサの動作電圧を調整し；

前記ノン・フラッシュ・メモリは、メモリ・バスを介して前記プロセッサに結合されており、前記ノン・フラッシュ・メモリは、前記プロセッサによって実行されたとき、前記プロセッサの処理負荷における動的な変化の少なくとも一部に基づいて、前記プロセッサの動作周波数の修正をおこない、かつ前記プロセッサの動作電圧の調整をおこなうプロセッサ命令をストアしていることを特徴とするシステム。

【請求項 2】 プロセッサの電力消費を低減する方法において：

プロセッサに前段階の電流動作を終了させるステップと；

前記プロセッサの動作周波数を修正するステップと；

前記プロセッサの動作電圧を調整するステップと；から構成され、

前記修正ならびに前記調整は、前記プロセッサの処理負荷における動的な変化の少なくとも一部に基づくものとすることを特徴とする方法。